

市内小中学校の現状と適正配置の経緯について

第 1 回常総市立学校適正配置実施計画検討委員会
令和 3 年 5 月 1 3 日
常総市教育委員会学校教育課

常総市立学校適正配置審議会 答申（平成22年8月）

平成20年9月 常総市立学校適正配置審議会を設置



平成22年8月 答申

- 学校の適正配置
- 適正規模及び通学区域の基本的考え方
- 適正配置の具体的方策（五箇小・三妻小の再編，大花羽小・菅原小の再編）



【提言内容】

「適正配置・適正規模及び通学区域の検討にあたっては，単なる統廃合という形式にとられることなく，教育の効果及び地域の声を考慮して実施する」

平成22年8月 答申を踏まえ、
「適正配置・適正規模及び通学区域の検討にあたっては、単なる統廃合という形式にとられることなく、教育の効果及び地域の声を考慮して実施する」

- 児童・生徒数の状況把握
- 児童・生徒数の将来推計
- 学校施設の老朽化の状況

◎対象校は、市内小中学校19校全校を対象と考えています。

◎将来に向けた長期的な視点での適正配置を検討し固めた上で、地域的な課題について対応策を検討します。

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き
～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～
(平成27年1月27日 文部科学省)

【学級数が少なくなることによるデメリット】

- ①クラス替えが全部または一部の学年でできない
- ②クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ③加配なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態が取りにくい
- ④クラブ活動や部活動の種類が限定される
- ⑤運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる
- ⑥男女比の偏りが生じやすい
- ⑦上級生・下級生間のコミュニケーションが少なくなる、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる
- ⑧体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる
- ⑨班活動やグループ分けに制約が生じる
- ⑩協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
- ⑪教科等が得な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる
- ⑫生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける
- ⑬児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる
- ⑭教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる

4

【望ましい学級数の考え方】

小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要。同学年に複数教員を配置するためには、1学年2学級以上（12学級以上）あることが望ましい。

中学校では、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要。また、教科担任による学習指導を行うためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましい。

（小学校）

- 1～5学級：複式学級が存在する規模
- 6学級：クラス替えができない規模
- 7～8学級：全学年ではクラス替えができない規模
- 9～11学級：半分以上の学年でクラス替えができない規模

（中学校）

- 1～2学級：複式学級が存在する規模
- 3学級：クラス替えができない規模
- 4～5学級：全学年ではクラス替えができない規模
- 6～8学級：全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模
- 9～11学級：全学年でクラス替えができ、同学年で複数教員配置や、免許外指導の解消が可能な規模

5

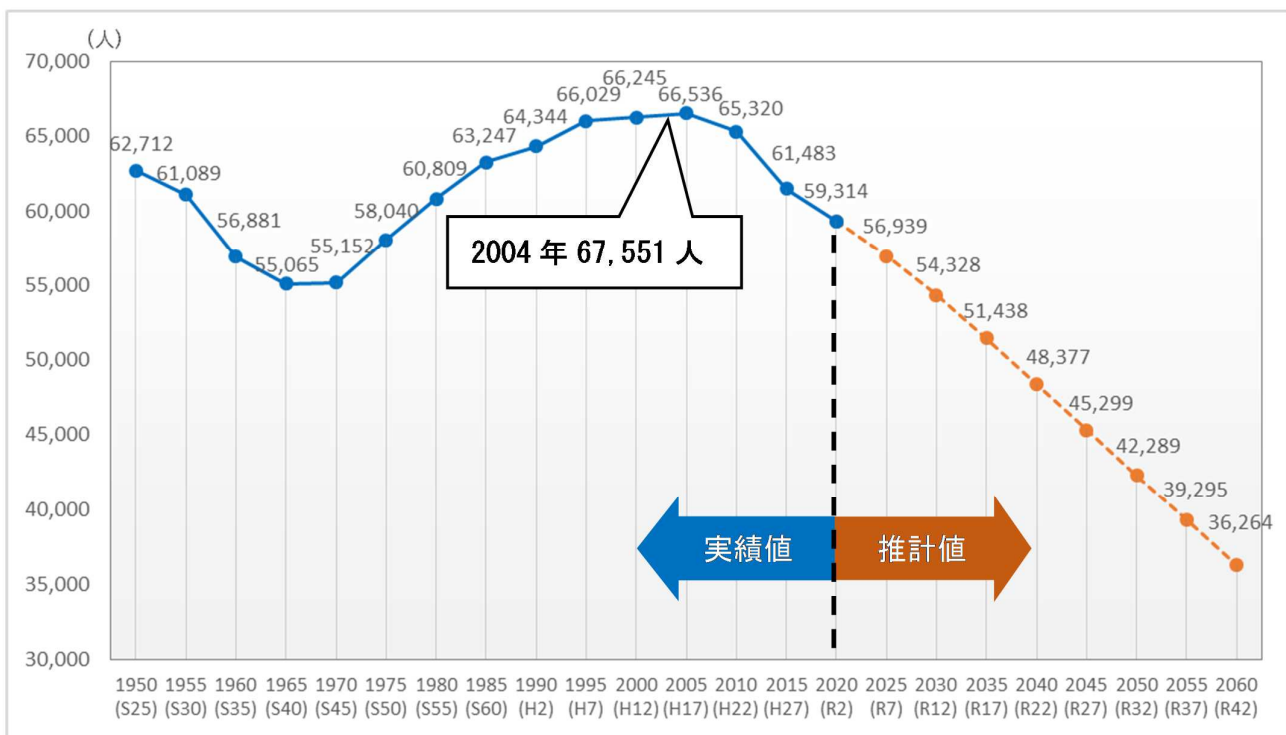
【小規模校を存続させる場合】

- ◆ 学校統合に伴いスクールバス等を導入しても安全安心な通学ができないと判断される場合
- ◆ 学校統合を行った後に、更なる少子化の進展や地域の産業構造の変化等の事情により児童生徒数が減少するなど、安定的に通学可能な範囲で更なる学校統合を進めることが難しい場合
- ◆ 同一市町村内に一つずつしか小・中学校がなく、かつ既に当該小・中学校が併置されていたり、小中一貫教育が導入されていたりするなど、当該市町村内で統合による学校規模の適正化を進めることが不可能な場合
- ◆ 学校を当該地域コミュニティの存続や発展の中核的な施設と位置付け、地域を挙げてその充実を図ることを希望する場合

6

人口の推移と将来推計

常総市人口ビジョン（令和3年改訂）より抜粋



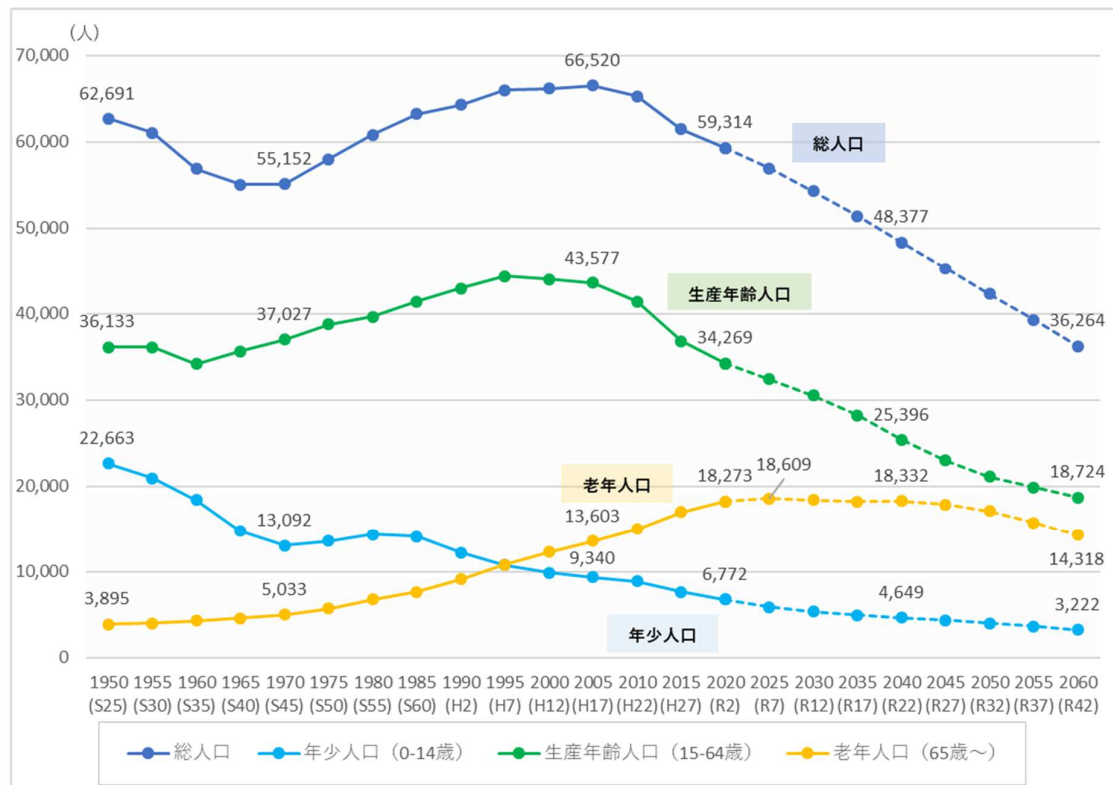
※出典

（2020年までの実績）総務省「国勢調査」及び茨城県常住人口調査
（2025年以降の推計）内閣府「将来人口推計のためのワークシート（社人研推計準拠）」を基に作成

7

年齢3区分人口の推移と将来推計

常総市人口ビジョン（令和3年改訂）より抜粋



※出典

(2010年まで) 総務省「国勢調査」※年齢不詳を除く

(2015年以降) 茨城県常住人口調査及び内閣府「将来人口推計のためのワークシート（社人研推計準拠）」を基に作成

常総市の人口ビジョン

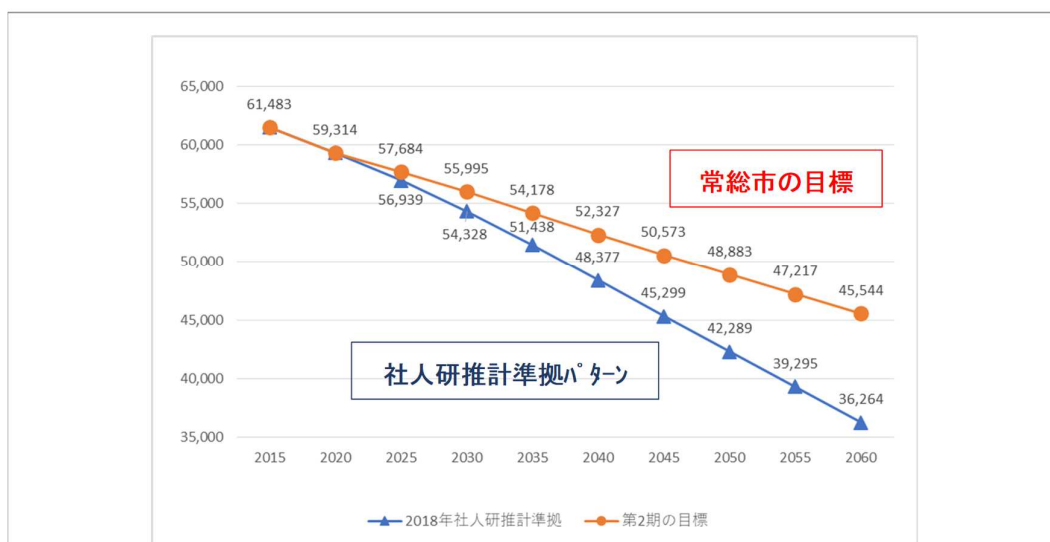
常総市人口ビジョン（令和3年改訂）より抜粋

当初人口ビジョンの2020年目標
59,000人



実績値(2020.10.1常住人口)
59,314人

2060年国勢調査人口 45,000人を維持



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計準拠	61,483	59,314	56,939	54,328	51,438	48,377	45,299	42,289	39,295	36,264
改訂版人口目標	61,483	59,314	57,684	55,995	54,178	52,327	50,573	48,883	47,217	45,544
合計特殊出生率	1.40	1.50	1.65	1.80	1.95	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10

※出典：内閣府「将来人口推計のためのワークシート」、茨城県常住人口調査

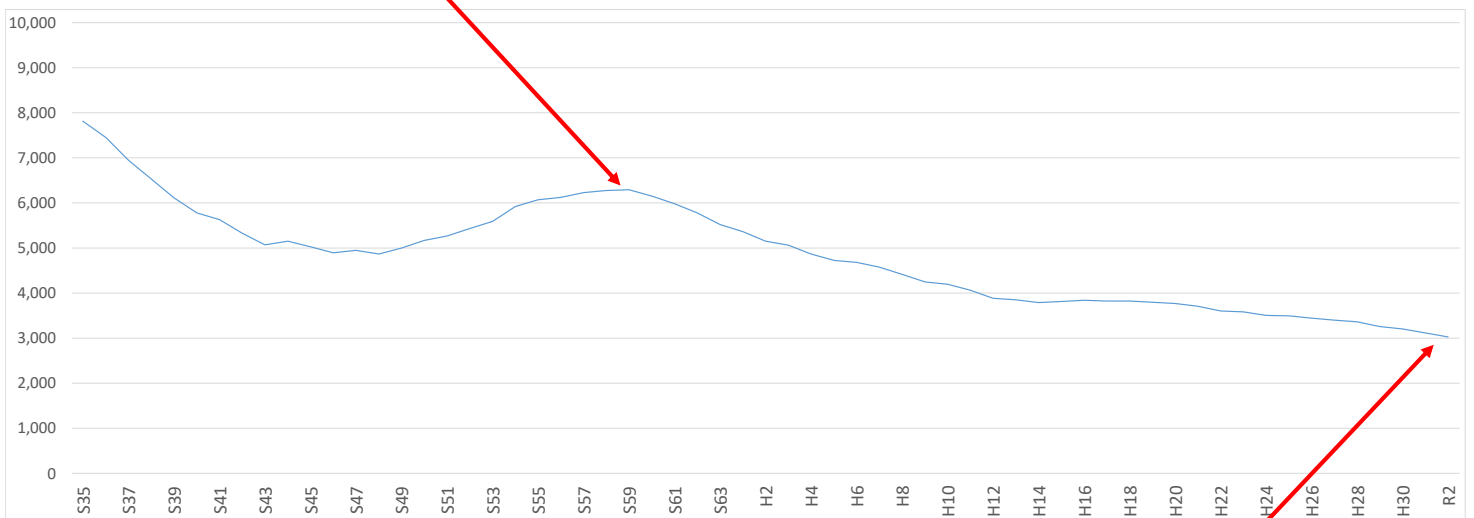
市内小中学校の現状

※児童生徒数のデータは、原則として令和2年5月1日学校基本調査を使用しています。

10

児童数の推移

昭和59年：6,289人

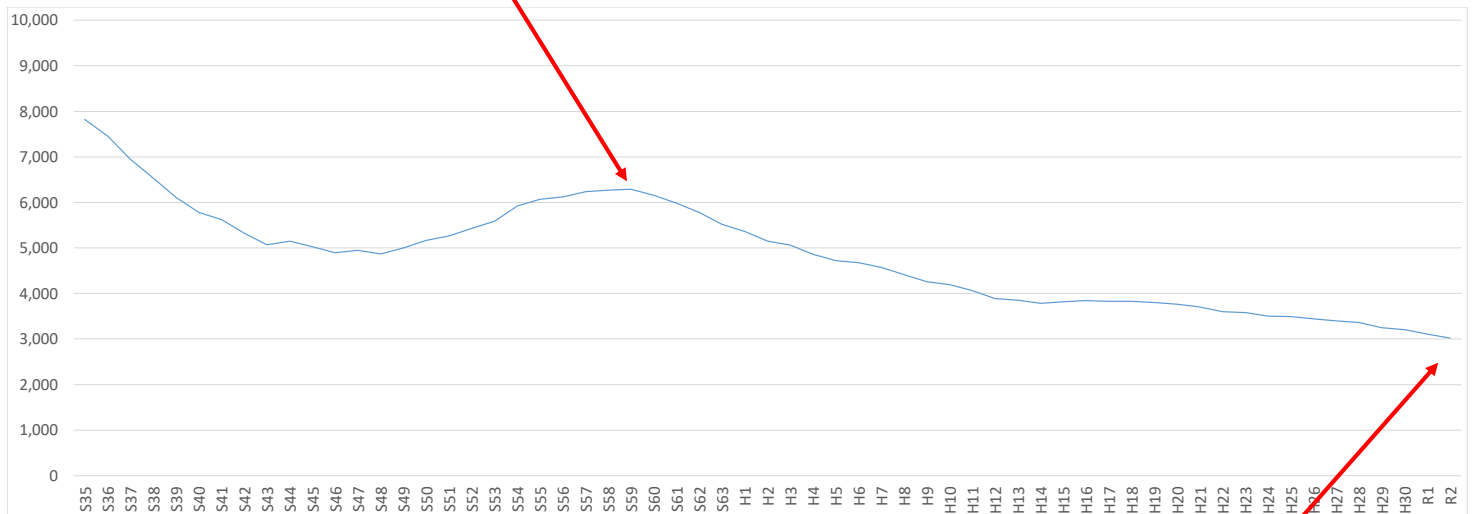


令和2年：3,023人

11

生徒数の推移

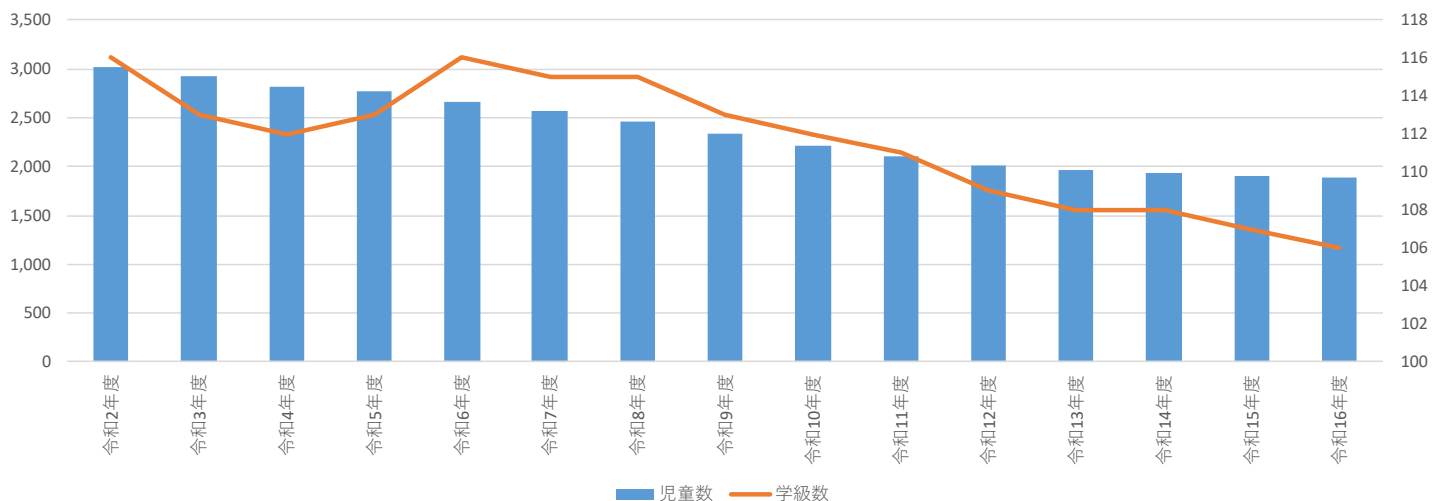
昭和62年：3,268人



令和2年：1,621人

児童数の将来推計

児童数・学級数推計



(試算条件)

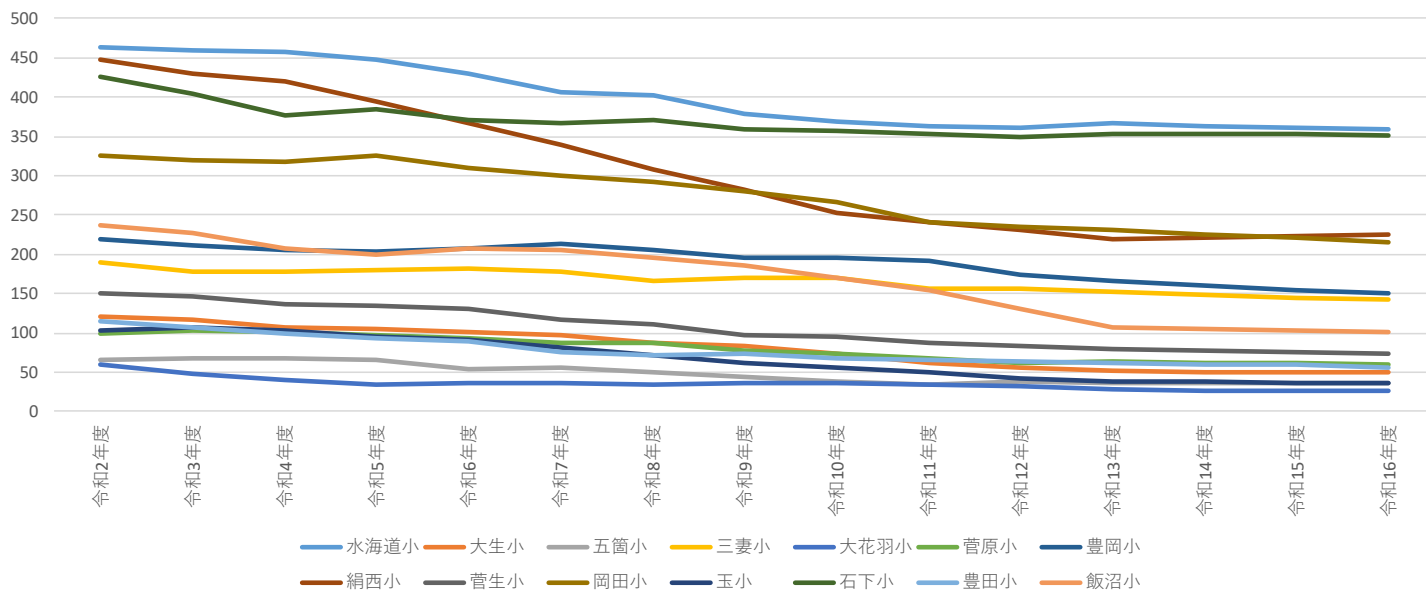
過去10年間の地区ごとの人口減少率の平均値を算出し、各学校の現状値に乗じて推計値を算出
→地域の人口動態を反映した推計を行いました

【分析】

○令和2年度と令和16年度を比較すると、児童数は1,000人程度減少しています。

児童数の将来推計（学校別）

小学校別児童数推計

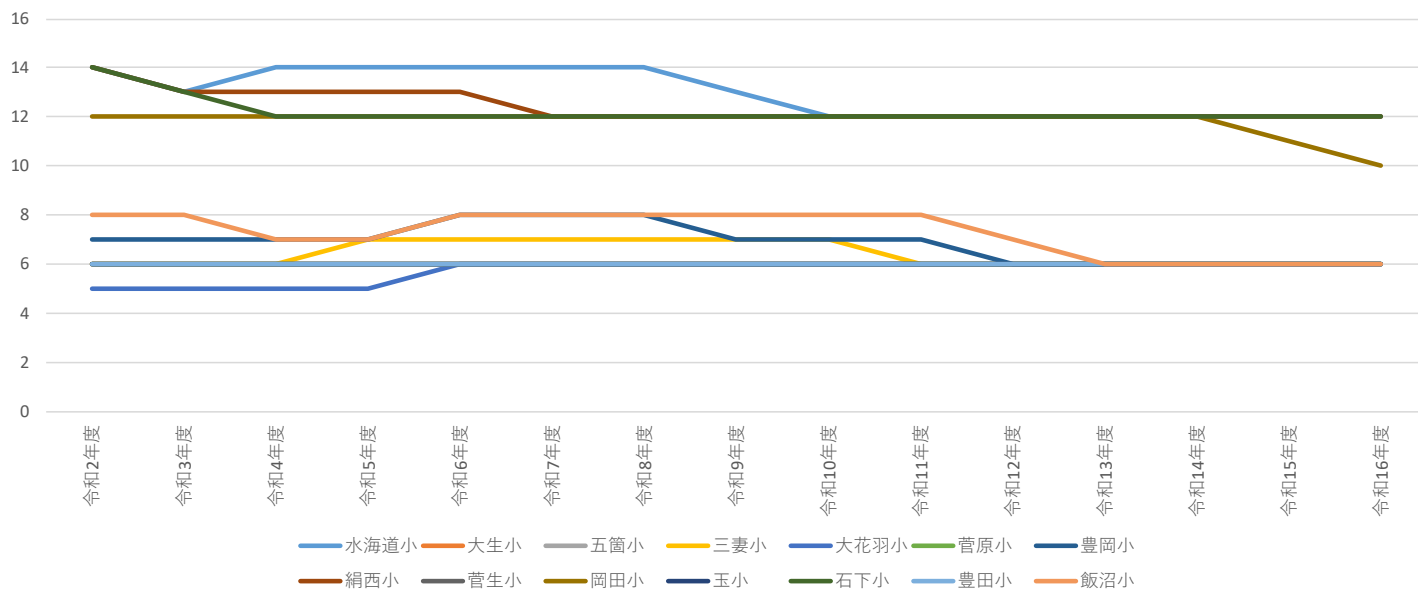


【分析】

- 令和16年度には、水海道小・石下小→350人程度、絹西小・岡田小→220人程度、豊岡小・飯沼小→150人程度の学校規模になると予測されます。
- 大花羽小は令和3年度の新一年生が2名、令和4年度にはすべての学年で複式学級になる可能性があります。（※住民基本台帳より）
- 五箇小学校は令和6年度の新一年生が2名となる予想です。（※住民基本台帳より）
- 菅原小学校は令和7年度の新一年生7名で、うち女性児童は1名となる予想です。（※住民基本台帳より）

学級数の将来推計（小学校別）

小学校別学級数推計

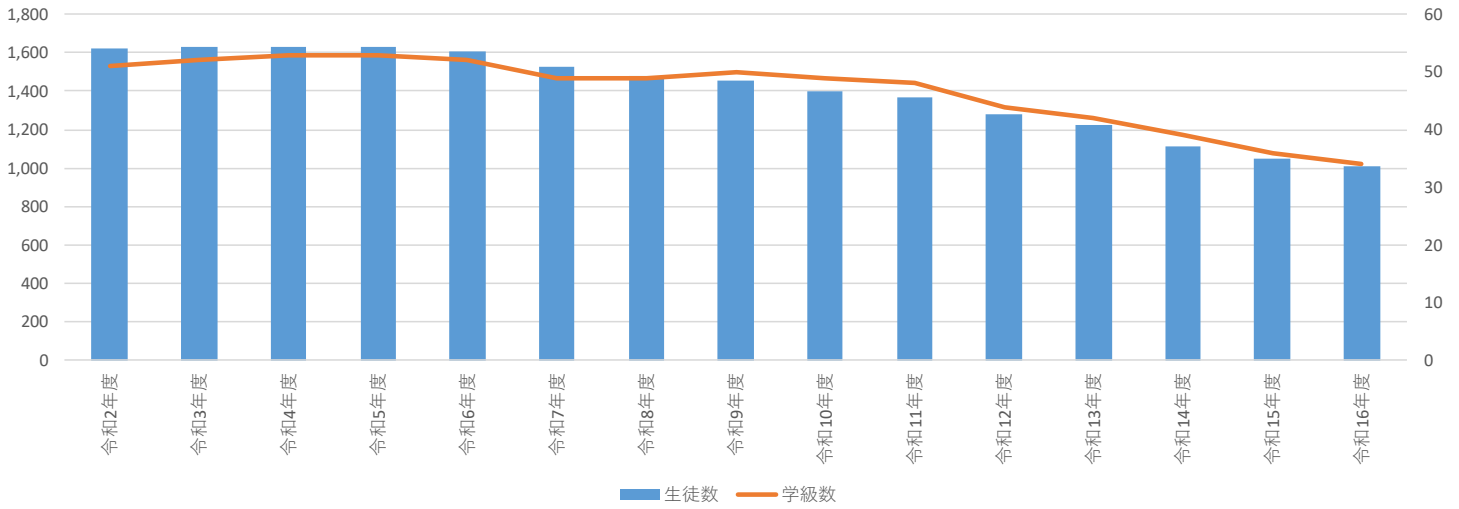


【分析】

- 令和4年度をピークに減少することが予想されます。
- 複式学級の編成によっては、さらに学級数は減少することが予想されます。

生徒数の将来推計

生徒数・学級数推計

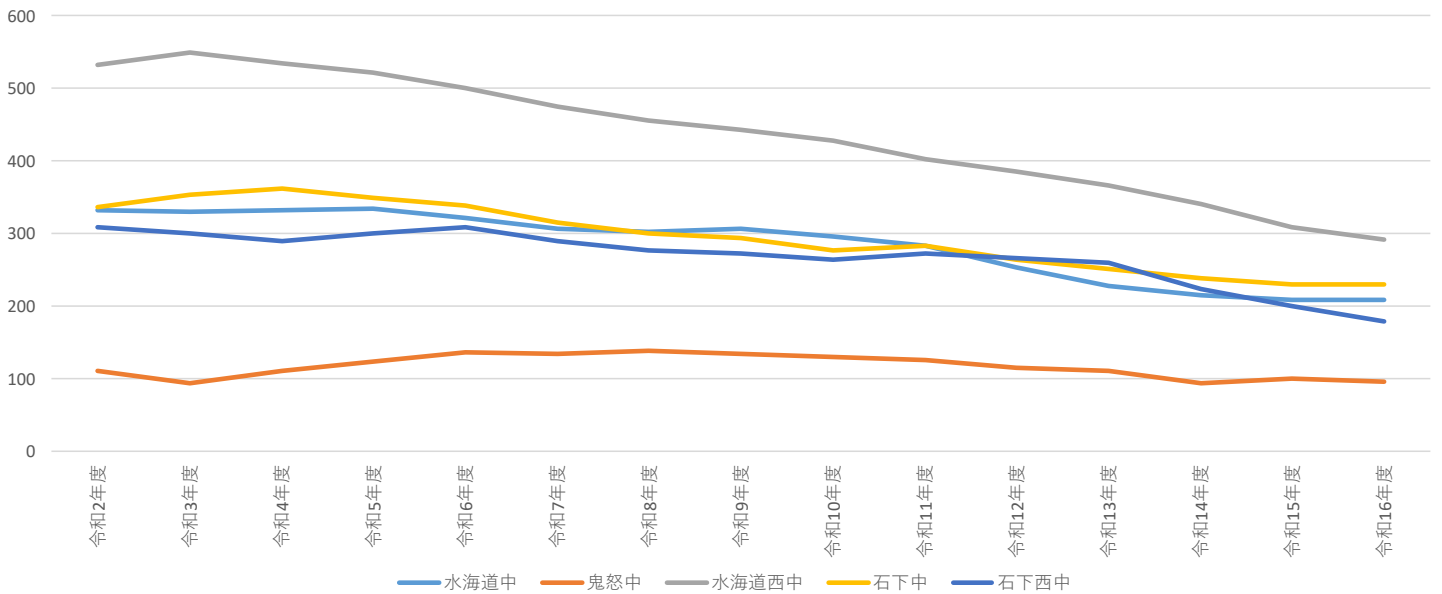


【分析】

○令和5年度と令和16年度を比較すると、生徒数は約600人程度減少すると予測されます。

生徒数の将来推計（中学校別）

中学校別生徒数推計

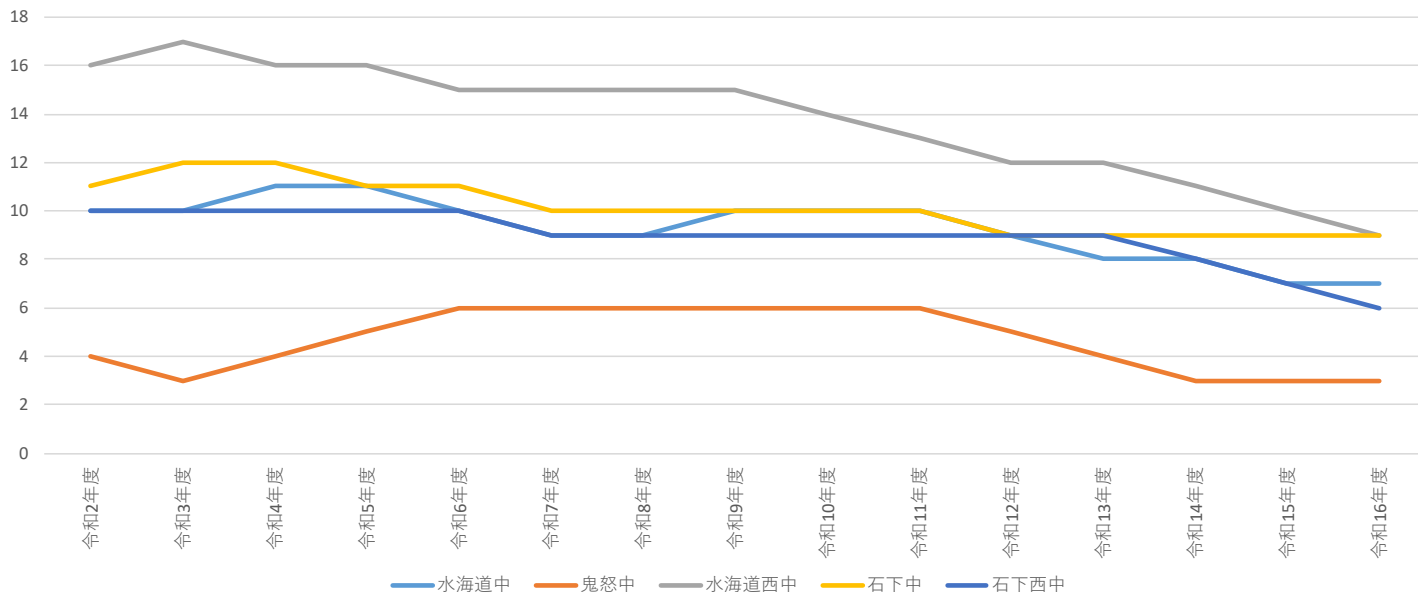


【分析】

○他校に比べて、鬼怒中学校は生徒数が100人前後を推移しています。

学級数の将来推計（中学校別）

中学校別学級数推計



【分析】

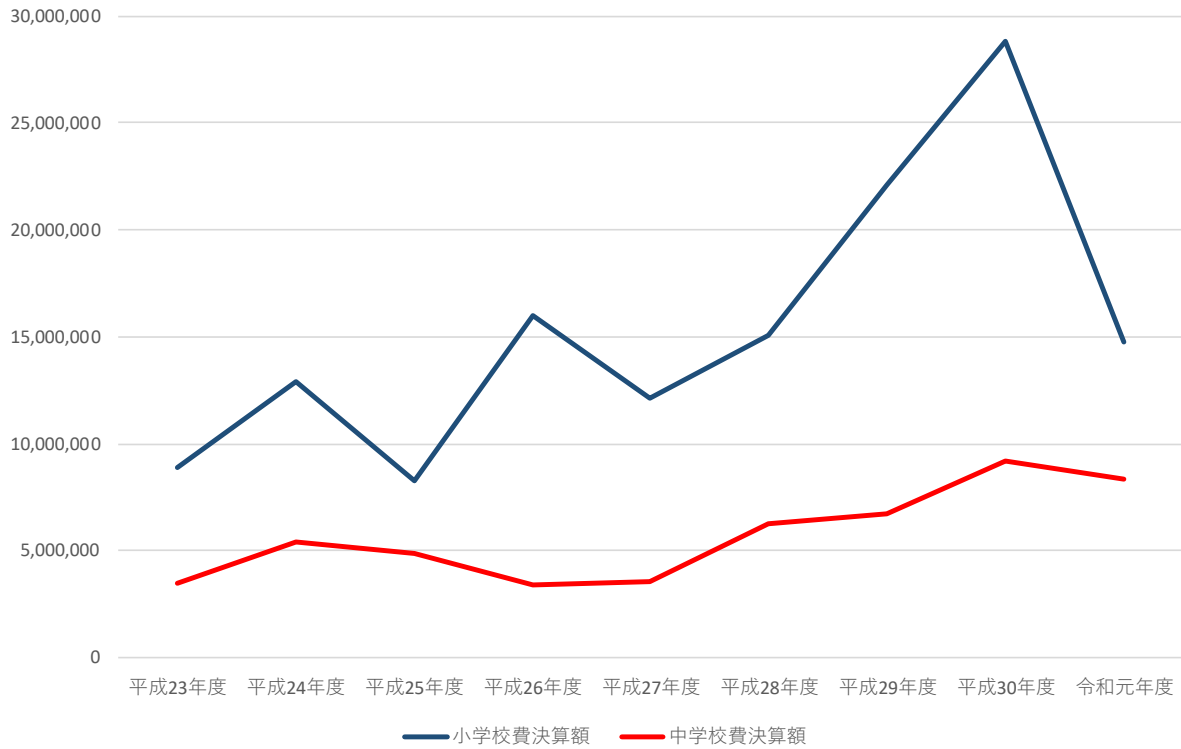
- 令和4年度頃から減少に転じていきます。
- 鬼怒中学校は令和3年度現在、全ての学年が1クラスです。その後の推計では、いったん2クラスになる学年が発生する見込みですが、令和14年度からは再度1学年1クラスになると予想されます。

施設の耐久性の課題

施設名称		建築年度	経過年数
水海道小学校	教室棟	昭和45年	51
大生小学校	教室棟	昭和56年	40
五箇小学校	教室棟	昭和53年	43
三妻小学校	教室棟	昭和53年	43
大花羽小学校	教室棟	昭和56年	40
菅原小学校	教室棟	昭和53年	43
豊岡小学校	教室棟	昭和54年	42
絹西小学校	教室棟	昭和33年	63
菅生小学校	教室棟	昭和48年	48
岡田小学校	教室棟	昭和46年	50
玉小学校	教室棟	昭和48年	48
石下小学校	教室棟	昭和53年	43
豊田小学校	教室棟	昭和57年	39
飯沼小学校	教室棟	昭和51年	45

施設の老朽化の課題

学校施設の修繕に係る決算額の推移



【分析】

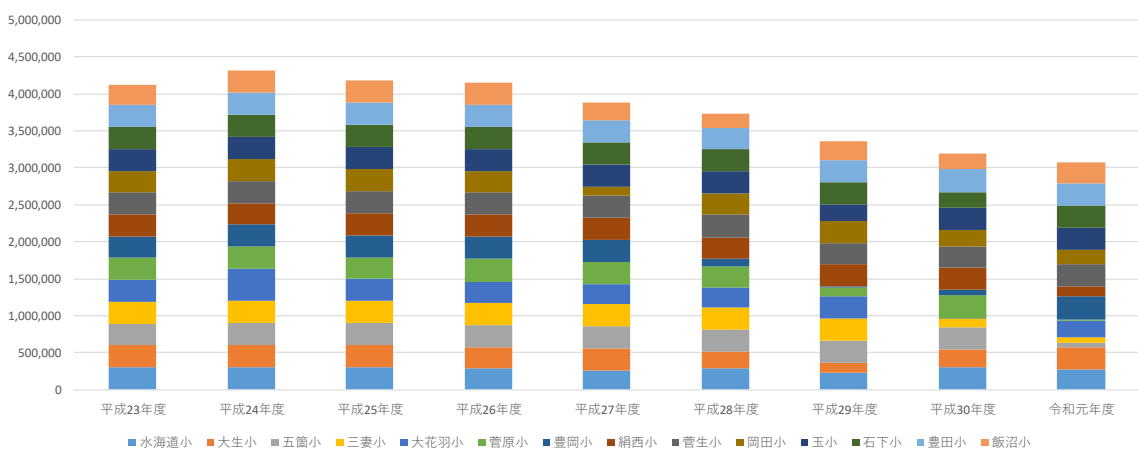
○決算額は年々額が大きくなっています = 施設の老朽化が進行していることが分かります

施設の老朽化の課題

小学校費_学校教育課_過去10年間の施設管理経費

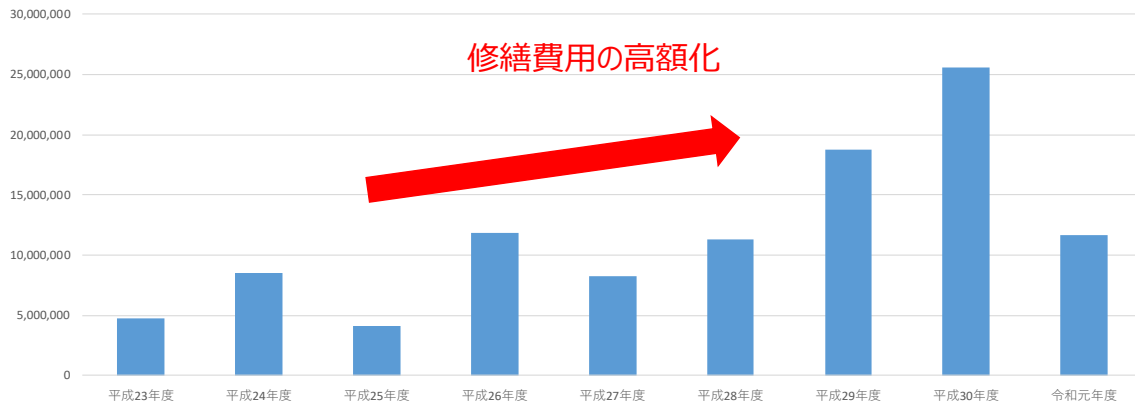


小学校費_学校別_過去10年間の施設管理経費

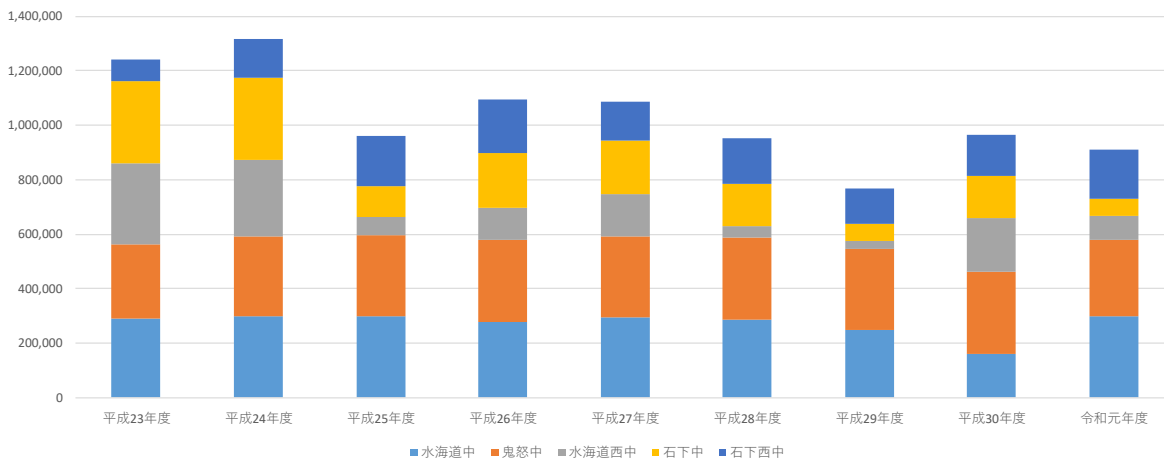


施設の老朽化の課題

中学校費_学校教育課_過去10年間の施設管理経費



中学校費_学校別_過去10年間の施設管理経費



終わりに

次回の会議【予定】

日時：令和3年5月31日（月）午後2時からを予定

会場：石下庁舎会議室

※会議資料や会議要旨については、随時市ホームページへ掲載してまいります。